

2012年11月

ご関係各位

雑誌広告デジタル送稿推進協議会
社団法人 日本雑誌協会
一般社団法人 日本雑誌広告協会
一般社団法人 日本広告業協会

J-PDF/モノクロ PDF の制作ルール改訂について

平素は雑誌広告デジタル送稿推進協議会の活動にご高配・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

EPSフォーマットの運用が終了し、2012年4月から制作ルールがPDFフォーマットに一本化される中、従来より要望の多かったWindows環境での制作とAdobe CS6の運用を2012年10月より開始する事となりました。

また、上記制作アプリケーションの運用に合わせてJ-PDFとモノクロPDF用プリフライトプロファイルの見直しも行い、従来の検出項目の課題を精査した事で、より精度の高い検証が可能となります。

今回の改訂による主な変更点

- Windows OSの運用開始(制作アプリケーションに適したOS環境とする。Windows 7を推奨)
- Illustrator CS6/InDesign CS6の運用開始と共に、今後のバージョンアップに伴う上限の撤廃
- 「J-PDF/モノクロPDF用プリフライトプロファイル」の仕様変更
 - 画像も含めた原稿内全てのオブジェクトに対し、インク総量を検出
 - 単一オブジェクトのパスの数の上限を1000から10000に
 - 原稿仕上がりサイズをプリフライト時に検出
 - 0.3pt未満の線の検出精度を向上。ヘアラインの検出と項目を切り分け
- インク総量の検出に伴い、Acrobat Pro 8の運用終了

現在、「雑誌デジ送ナビ」より配布している【仕様書】【PDF制作ガイド】【プリフライトプロファイル】につきましては、2012年10月より内容を切り替え、新しい制作・検証環境の運用を適用致します。

ただし、【PDF設定】に変更はありません。

改訂前の【仕様書】【プリフライトプロファイル】は暫し併用運用としますが、新しく改訂したファイルと混同して利用されないようご注意ください。

なお、併用運用終了時期は、2013年3月末日入稿分までとさせていただきます。

今回の改訂は、当協議会が策定・推進しているロードマップに沿った決定であると同時に、PDFフォーマットの特性を活かした幅広い制作環境と安定した検証内容で運用する事を目的としております。

ぜひ、主旨をご理解いただき、ご関係の皆様にはご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

また、今後も当協議会の活動に、引き続きましてのご協力をお願い致します。